



# 地域支援センター「みみらんど・郡山」

令和2年度 第4回きこえとことばの基本研修会



テーマ「発音学習の実際」 講師 飯塚和也教諭



## 発音学習を行い発音が明瞭になると・・・

- ・人前でも自信をもって自己表現できるようになる。  
(自己肯定感が上がる)
- ・音韻意識を向上させ、日本語の力を伸ばすことができる。(コミュニケーション力の向上)

## 発音学習の3つのポイント

- (1) 母音の発音がすべての土台  
『母音に始まり母音に終わる』
- (2) 子音の調音点を教えること
- (3) 子音の調音方法を教えること

## <発音学習を行うにあたって>

- (1) 聴覚を最大限に活用する
    - ・補聴器の調整との管理 ・環境への配慮
    - ・音の敏感さを増す環境づくり
  - (2) 他の感覚(視覚、触覚、味覚、筋肉運動感覚)と併用する
    - ・ことばの指示との結びつけ ・「快」の体験を心がける・フィードバックの手がかりを多く持たせる
  - (3) 指導場面・事前準備
    - ・1対1で鏡を見ながら行う ・15分程度定着するまで根気強く
- ★まずは指導者が自分で発音して確かめる

## 舌の動きが重要!

- 自分の思うように舌を動かせる(力の抜けた平らな舌が大切)
- 舌の上顎につく場所を見つける(調音点)



## <ウェーファ・メソッドに挑戦>

- ① ウェーファを舌先でなめさせ、穴をあけさせる
- ② 穴のあいたウェーファの一か所を破り、手を使わずにリング状に食べさせる
- ③ 上唇につけたウェーファを舌先でとる
- ④ 下唇につけたウェーファを舌先でとる
- ⑤ 唇につけた2枚のウェーファを舌先でとる
- ⑥ 舌の調音点にウェーファを付けて発音する

## <発音学習の実際>

- (1) 発音明瞭度検査の実施・分析
- (2) 内容の検討・実施
  - ① 単音の学習:カ行音(うがい法) サ行音(ストロー法) タ行音(調音点を指導) ハ行音(触覚法や器具)
  - ② 単音の学習(例「か」)
    - 語頭:「かき」「かさ」「かきごおり」
    - 語中:「あかい」「おかし」「しかく」
    - 語尾:「いか」「おかか」「りか」
  - ③ 単音の学習
    - 「カーカーカラスが、ないている。」
    - 「おかあさんに、かすてらかってもらった。」

## <参加者の感想>

・実際に自分で舌を使って確認できたので、調音点の位置が分かりやすく学べました。子どもに伝える難しさがよくわかりました。

日本語を身に付けるためには、  
早期からの教育や療育が大切です。  
詳しくは、本校地域支援センターを  
ご活用ください。

